



平成23年8月5日

各位

上場会社名 日本エアーテック株式会社  
 代表者 代表取締役社長 平沢 真也  
 (コード番号 6291)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 大重 一義  
 (TEL 03-3872-9192)

## 平成23年12月期第2四半期及び通期(非連結) 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年2月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 業績予想の修正について

平成23年12月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,750	153	197	116	12.92
今回修正予想(B)	3,603	71	149	65	7.35
増減額(B-A)	147	82	48	51	
増減率(%)	3.9	53.6	24.4	44.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年12月期第2四半期)	3,387	108	137	76	8.53

平成23年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,500	306	350	206	22.95
今回修正予想(B)	7,000	120	207	103	11.47
増減額(B-A)	500	186	143	103	
増減率(%)	6.7	60.8	40.9	50.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年12月期)	6,579	37	67	28	3.20

#### 修正の理由

当期における我国経済は、年初では景気回復基調にありましたが、東日本大震災及び円高の影響により先行き不透明な状況が続いております。

当社の事業環境は、電子工業分野では、国内の半導体、液晶、電子部品関連製品及び部品の生産高が増加傾向にありましたが、大震災の影響で設備投資計画の変更が余儀なくされ、本格的な設備投資の回復までには至っておりません。また、台湾、韓国、中国向けの半導体、液晶関連製造装置受注増加に伴い、当社製品の販売も増加傾向にありますが、競争激化により製品の販売価格下落の影響を受けました。一方、バイオロジカル分野では、製薬、食品分野への設備投資が増加し、バイオロジカル分野全体としての売上高は増加しましたが、医療分野では昨年大幅に設備された新型インフルエンザ感染防止機器の設備投資が減少しました。

収益面におきましては、製缶・アルミ部品の社内製作の増加による原価低減及びサービス要員の増強による外注加工費の低減を実施してまいりました。しかし、不良債権の発生及び販売価格の下落などの影響は多大であり、第2四半期及び通期業績予想を修正するものであります。

(業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項)

本資料に記載されている業績見直しなどの将来に関する記述は、当社の現時点における入手可能な限りの情報を基に作成したものであり、実際の業績などは様々な要因により異なる可能性がありますのでご承知おきください。

以上